

令和 2 年度
福岡美容専門学校
福岡校

学校自己評価
報告書

(自令和 2 年 4 月 1 日 至令和 3 年 3 月 31 日)

福岡美容専門学校 学校自己評価委員

委員長 教務企画課長 増田 葉子

委員 広報室長 前原 洋史

教務部長 藤本 一平

教務課長 西岡 直子

令和2年度 福岡美容専門学校 福岡校 自己評価結果

【評価 適切・4 ほぼ適切・3 やや不適切・2 不適切・1】

1. 教育理念 目標

評価項目	自己評価
A、学校の理念・教育方針・人材育成像は定められているか	4
B、学校の目指す職業教育の特色が理解され、指導に生かされているか	4
C、社会のニーズを的確に捉え、学校の将来構想が示されているか	4
D、学校の理念・教育方針・育成人材像・特色・将来構想が学生や保護者に周知されているか	3

本校は、福岡県下 2,700 店舗の美容室が加盟する福岡県美容生活衛生同業組合が設置した組合立の美容学校です。組合立という安定した設置基盤の下に、教育基本法ならびに美容師法に則り、学生の個性に応じた専門教育を施し、次世代の後継者を育成して美容業界に寄与するという崇高な理念を継続して実現するために学校運営を行っています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大によって緊急事態宣言発出のもと、対面授業開始が6月になるなど学校運営には大変な努力と工夫を必要といたしました。しかし、こうした想定外の事態においても私たちの使命である「サロンに安心して受け入れていただく美容師を養成し、美容業界の健全な発展に寄与する」という目的を果たすことが出来たと思います。

A,Bについては明確に定め、全職員に周知徹底を図っています。

C、については常に全国の美容室や美容関係者と連携を取り、それに合わせた教育内容の調整を行っています。求められる人物像を明確にし、教育に活かしています。

D、については例年校内コンクールやヘアショーといった学内の行事にご来場いただき、学生の成長をご覧いただいているところですが、令和2年度はコロナ禍のためこうした場を提供することが出来ませんでした。そのため次年度以降は是非学生と保護者の安全を確保した上で機会を設けたいと思います。

2. 学校運営

評価項目	自己評価
A、教育方針・目標に沿った運営方針が策定されているか	4
B、運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
C、運営組織や意思決定機能は明確で有効に機能しているか	4
D、教職員の人事、給与に関する規定は明確に、正當に整備されているか	4
E、教務、財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
F、教育活動などに関する情報公開は適切になされているか	3
G、情報システム化等による業務の効率化や省力化が図られているか	4

A、については「1、教育理念 目標」にあるとおり明確な理念に基づき学校運営を行っています。

B、についても A に沿った年間、中期、長期の事業計画を立案し、それをもとに学校運営を行っています。

- C、校長を頂点とした管理職が随時意思決定を行っています。平成 29 年より組織化された「教務企画課」が情報収集と分析を行い、管理職の意思決定を支援しています。
- D、については職員就業規則や諸規定に沿って明確に実施しています。
- E、についても C と同様に明確に定め、機能しています。
- F、については平成 31 年度より本校のウェブサイトで開催しており、より多くの志願者や関係者に本校の実情をご理解いただけていると考えています。
- G、については本校のネットワークシステムは大変秀逸で、教職員は全職員に各一台ずつ貸与されたパソコンを使用し、このネットワークを活用することで情報の共有と連携、また学生の成績、出欠状況、学生募集に関する情報の一元化を行っています。ZOOM やその他のインターネットツールを利用して在宅での学生指導や学生管理、リモートワークに着手した年でもありました。今後は一層の活用を行います。

3、教育活動

評価項目	自己評価
A、教育理念・教育方針・目標に沿った教育課程の編成、実施方策などが作成されているか	4
B、育成人材像や業界のニーズを踏まえて、修業年限に応じた教育の到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
C、実習・学科などのカリキュラムは体系的に編成され、学習指導方法の工夫や研究などが職業訓練という視点で行われているか	4
D、美容業界との連携によるカリキュラムの作成やその定期的な見直しがなされているか	4
E、美容業界と連携して、実践的な職業教育を目的とした実務実習（インターンシップ）が行われているか	4
F、授業評価を行うため、研究授業等の評価体制は適切に実施されているか	3
G、職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
H、成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確か	4
I、人材育成の要件を備えた教員が、教育目標に沿って確保されているか	4
J、美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や教員の指導力の向上のための取り組みは行われているか	3
K、職員の能力開発のための研修は行われているか	3

A,B,C については本校が最も力を注いでいる事でもあり、十分に実施されています。2 年間の在学期間にその時期に応じた明確な到達目標を設定し、教員はその目標に合わせて学生を指導しています。

また、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症と共にある一年間でしたので、本校でも美容師法に則って行っている教育のうち、「衛生」に関する指導により力を入れた一年でした。

D,については令和 2 年度よりカリキュラムの大幅な見直しを行いました。その一環として「選択授業」(3 単位)を導入し、学生が各自の将来に合わせて授業を選択できることにしました。

E,については本校のカリキュラムの中で実施している「実務実習」がその役を担っています。学生が職業に対する理解を深める上で大きな原動力となっています。ただし、今後の課題として実習先に学生が出向く際に感染症から身を守る、または他者への感染リスクを考えた行動について十分に指導する必要があります。

F,については定期的に授業研究を行い他教員からのアドバイスをを行うなど、教員の質の向上に資しています。

G,については福岡県美容組合理事によって組織されている学校管理委員会に定期的に学校運営についての報告を行うとともに意見を頂戴し、運営に有効に活かしています。

H,については大変明確に学則に定めており、学生の成績認定を行っています。

I,については本校の教職員は完全雇用のいわゆる常勤職員を基礎としているため本校の理念や教育方針が十分に浸透、理解された上で教育に当たっています。

J,Kについては教育の質の向上のため全力で取り組んでいる事項です。例年教員は年に一度のサロンへの出向研修（インターンシップ）を行っています。また、現役の美容師である外部講師を招聘しての技術研修等は着実に成果を上げています。しかし、本年度コロナ禍にあつて、社内研修のみの実施となりました。次年度は感染状況を見極めて是非実施したいと思ひます。

4、学習成果

評価項目	自己評価
A、就職率の向上はなされているか	4
B、美容師資格の取得（国家試験合格）はなされているか	4
C、その他美容関連の資格取得はなされているか	4
D、資格取得に対する指導や支援が行われているか	3
E、退学率の低下が図られているか	4
F、卒業生・在校生の社会的な活躍、評価を把握しているか	3

入学者数と退学率、就職率、国家試験合格率 資料①										
入学年度	入学者数	卒業者数	退学数	退学率	休学数	就職者数	就職率	国家試験 受験者数	合格者数	合格率
H28 年度生	316 名	295 名	20 名	6.32%	1 名	289 名	98.0%	296 名	296 名	100.00%
H29 年度生	309 名	298 名	11 名	3.55%		291 名	97.7%	298 名	294 名	98.66%
H30 年度生	274 名	260 名	14 名	5.11%		243 名	93.5%	260 名	255 名	98.08%
H31 年度生	318 名	291 名	27 名	8.49%		267 名	92.1%	291 名	285 名	97.93%
R2 年度生	320 名									

A,については資料①のとおり本校の就職率は非常に高いレベルにあります。令和 2 年 2 月より大流行した新型コロナウイルス感染症の発生状況により、学生の就職先の確保と就職率の低下が懸念されましたが、オンラインでの就職説明会や面接を実施することで最終的に就職率は平年と比較しても遜色無い結果となりました。

B,については引き続き高いレベルにあるといえます。美容学校に入学する学生は美容師資格を取得することを大きな目的としているため本校でも到達目標としてこの資格取得については注力を行っています。これについても A と同様にオンラインでの在宅授業や実習が多かったものの、国家試験の合格率は 97.79%と、平年と比較しても遜色ありません。

C,D についてはマナー検定、着付け検定、ネイル検定、メイク検定、エステ検定などを本校では実施しています。合格レベルに達していない学生には放課後等授業時間以外にも教員による指導を行っており、資格取得のための支援を行っています。結果、いずれの資格も合格率は例年通り大変高いレベルにあります。

E,については担任と副担任の各クラス 2 名の指導体制に加えて教務課長、部長、広報職員などもケースに応じて面談を行い、2 クラスに 1 名の総担任、学年を束ねる学年主任が常に全クラスの情報交換を行い、問題を抱えた学生の早期発見とカウンセリングで退学率を低いレベルに保つことが出来ています。

F,については本校の同窓会組織が整備され、遠隔地においての本校出身者の動向も良く伝わるようになりましたが、残念ながら令和 2 年度はコロナ禍にあつてこのように外部での会を催すことは自粛いたしました。

5、学生支援

評価項目	自己評価
A、進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
B、学生相談に関する体制は整備されているか	4
C、学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
D、学生の健康管理の支援体制は整備されているか	4
E、課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
F、学生の生活環境への支援体制はあるか	4
G、保護者と適切に連携しているか	4
H、卒業への支援体制はあるか	4
I、社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか高校との連携による教育・職業教育の取り組みが行われているか	4
J、高校との連携による教育・職業教育の取り組みが行われているか	4

A,については、本校では就職指導を担当、副担任、総担任、学年主任といった学年団の複数人員で行っており、その指導を就職課が行っています。令和 2 年度はコロナ禍にあつて学生の就職活動が制限され、就職先確保が懸念されましたが、オンラインでの説明会や面接などの工夫により十分な就職先を提供できました。

B,について A と同じく学年団の複数の教員に加えて教務課長、教務部長、教頭が学生の相談にあっています。悩みを抱える学生を早期に発見し、改善の提案をすることが重要です。

C,については入学時の美容組合奨励金制度や、特待生制度、卒業時の優秀学生表彰報奨金などが主たるものです。令和 3 年度の入学者全員に対して 20 万円の学費支援を行うことを決定し、また、在校生に対しても 5 万円の学費支援を行いました。これはコロナ禍にあつて保護者の経済的な困窮が懸念されたため、各家庭の経済的負担を低減できたと思います。

D,については年に 1 回実施している健康診断、年末に全学生を対象に実施しているインフルエンザ予防接種、校医の設置などで学生の健康維持に配慮をしています。

令和 2 年度はコロナ禍での教育活動となり、学生の健康管理と体調把握については特段の注意を払って来ました。具体的には①学校玄関にサーマルカメラを設置②全クラスで 1 日に 2 回担任が学生を検温し、記録③館内各所と全教室に消毒液(エタノール)を設置し、手指の消毒、館内の消毒・清掃を励行④在宅オンラインで授業を行う際にも、インターネットのツールで 1 日に 2 回の学生の検温記録等を行いました。

E,については本校の取り組みとして学生の技術大会に出場する学生やフォトの作品作りに興味を持つ学生などに対して放課後の指導を行い、活動の場を与えています。しかし、令和2年度は全国学生技術大会がコロナ禍にあって中止になるなど学生たちの技術向上の意欲を十分に満たせなかった事は否めません。

F,については、学生の経済事情や食生活についての理解を深め、より早い段階でのアドバイスが出来るよう学生からの情報収集と面談に注力をしました。

G,については本校の新しい取り組みとしてインターネットを通じて学生とその保護者へ即時に情報発信するツールを導入し、これを活用しています。

H,については成績不良の学生については放課後に十分な指導を行った上で追試験を実施しています。また、諸事情により出席日数が不足した学生には補習を実施して単位を認定しています。

I,については広報部を主に在校生の卒業校の先生に現在の学生の状況など緊密な連絡を取っています。また、学生の入学後も高校在籍中の情報を得て学生指導に資するため高校とのコミュニケーションを保っています。

J,についても広報部と教員が共同で高校へ出向き、美容業界について理解を深めるための授業を実施するなどの取り組みをしています。また、年間を通して高校からの学校見学の受け入れや学校説明を実施することで本校と美容業界への理解を深めていただく努力を続けています。

6、教育環境

評価項目	自己評価
A、施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4
B、海外研修などの実施の体制は整備されているか	-
C、防災に対する体制は整備されているか	4

A,については改修、設備の定期的な入れ替えなどを実施しており、カリキュラムに相応しいものとなっています。令和2年度はシャンプー設備の改修を行い、学生が練習するための施設が充実しました。

B,については毎年2年次に希望学生による海外研修旅行を実施していますが、令和2年度はコロナ禍にあってこの実施を見送りました。

C,防災施設は整っており、防災担当職員が防災計画に則って職員の防火管理者資格の取得や、教職員と学生の防災訓練、避難訓練を年間計画の中に組み入れて実施しています。また、業者による年間2回の消防設備と施設の点検を継続しています。

7、学生募集

評価項目	自己評価
A、学生募集活動は適正に行われているか	4
B、学生募集活動において、本校の理念や募集ポリシーを正確に伝え、誇大宣伝等誤解を与えることの無いよう誠実に行っているか	4
C、学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
D、学費は妥当なものとなっているか	4

A,B,C,D 全てにおいて適切かつ正しく実施しています。

入学案内と募集要項は毎年作成しています。例年は年間 40 回程度のオープンキャンパスを実施していましたが、令和 2 年度はコロナ禍のため来校型オープンキャンパスは 28 回と回数を控え、代わってオンラインでのオープンキャンパスや学校説明会、個別相談会を実施することで本校の実情を説明しています。

高校卒業後の進路選択においては時間をかけ、複数の学校を見学し、多くの選択肢の中から希望に沿った学校を選ぶよう高校生に呼びかけています。そのため本校は AO 入試を実施していません。

また、美容業界の真実の姿を率直に説明し、待遇、休日、福利厚生、離職率等の厳しい現実を隠さずに伝えています。そして、本校には本当に「美容師になりたい覚悟」を持った生徒に来ていただきたいと思っています。

学費については妥当なものと考えます。また、入学後も募集要項に記載されていない追加徴収や教材販売などは一切行っていません。教材については入学時に配布する教材に加え、授業開始時期に合わせて同期配布する教材で全ての授業を受講することができます。

また、卒業直前に学生が受験する国家試験の受験料（¥25,000・※令和 2 年度）も全て校納金の中から支出し、このために学生の負担が増えることが無いようにしています。

令和 2 年度は、令和 3 年度入学者に対して 20 万円の学費支援を決定し、在校生に対して 5 万円の支援を行いました。これはコロナ禍で保護者の収入減が懸念される中での特別措置として実施いたしました。

8、財務

評価項目	自己評価
A、中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	4
B、予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
C、財務に関する会計監査は適正に行われているか	4
D、財務情報公開の体制整備はできているか	4

A,B,C については全て良好です。会計監査についても厳格に行われています。

本校の経営状態は大変に良好であると考えます。

また、D については本校のウェブサイト上で公開し、本校の健全な経営状態を広く理解していただけているようにしています。

9、法令などの遵守

評価項目	自己評価
A、法令、専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか	4
B、個人情報に対し、その保護のための対策がなされているか	4
C、自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
D、自己評価を公開しているか	4

A,B,C についてはすべて良好に実施・管理されています。

D につきましては、昨年度よりウェブサイト上で公開をいたしました。

本校は美容師法、専門学校設置基準に基づいて厳格に運営されていると評価できます。
教員の配置数や授業実施時間数、単位の取得についても美容師法、美容師養成施設指定規則に則っています。

個人情報の保護や取り扱いについても平素より教職員の啓蒙を実施し、厳格に管理されています。本校では学生の個人情報の保護を大変重要な事と捉えており、教職員にも折に触れてそのことに理解を深めるよう伝えていきます。

自己評価の公開につきましては本校の設置者である美容組合員や、その理事で構成される学校管理委員には常に報告し、公開して参りましたが昨年度よりウェブサイト上でも公開し、広く理解していただけるよう努力をしております。

10、社会貢献・地域貢献

評価項目	自己評価
A、学校の教育資源や施設を利用した社会貢献、地域貢献を行っているか	-
B、学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	-
C、地域に対する公開講座・教育訓練受託などを積極的かつ定期的に行っているか	-

上記項目は令和 2 年度中はコロナ禍にあつて学生が貢献できる場を十分に確保することができませんでした。そのため令和 2 年度のこの項目については評価無しとしました。こうした社会貢献は在校生にとっても貴重な経験であると本校では推奨していますので、感染症の状況次第で是非実施したいと思えます。

11、総合評価

総合的に上記 1 から 10 までの項目を点検したところ本校は適正な学校運営を行っているとして評価します。上記の細目の中にもあるように今後の課題が数点ありましたがそのうち多くは本年度解決することが出来ました。これは教職員の努力の末に成し遂げたものです。

また、新たな問題として浮上した感染症対策についても、職員、学生が力を合わせて取り組んでまいりました。その結果令和 2 年度を無事終え、国家試験の受験も含め無事に卒業生を送り出すことができました。「ウィズ コロナ」の時代を迎え、教育活動においては「ソーシャルディスタンス」等感染防止に努め、卒業後には学校で学んだ「衛生」を活かし社会貢献できる人材の育成に努めます。

本校創立の際に美容組合が掲げた、後継者を育成し、そして良い人材を美容業界に輩出する、という理念を見失うことなく今後の学校運営に当たりたいと思えます。